

次項からのグラフ等の配置

【因子名称】	
H17 入学理科女子の因子得点推移 (SSH卒業は単独講座のみ)	H17 入学SSβ類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)
H17 入学理科男子の因子得点推移 (SSH卒業は単独講座のみ)	H17 入学SSα類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)
H18 入学SSβ類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)	H18 入学SSα類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は中3から)
H19 入学SSβ類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)	H19 入学SSα類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は中3から)
H20 入学SSβ類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)	H20 入学SSα類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は中3から)
H21 入学SSβ類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)	H21 入学SSα類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は中3から)
H22 入学SSβ類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)	H22 入学SSα類型女子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)
H18 入学SSβ類型男子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)	H18 入学SSα類型男子の 因子得点推移 (SSH卒業は中3から)
H19 入学SSβ類型男子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)	H19 入学SSα類型男子の 因子得点推移 (SSH卒業は中3から)
H20 入学SSβ類型男子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)	H20 入学SSα類型男子の 因子得点推移 (SSH卒業は中3から)

H21 入学SSβ類型男子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)	H21 入学SSα類型男子の 因子得点推移 (SSH卒業は中3から)
H22 入学SSβ類型男子の 因子得点推移 (SSH卒業は高1から)	H22 入学SSα類型男子の 因子得点推移 (SSH卒業は中3から)

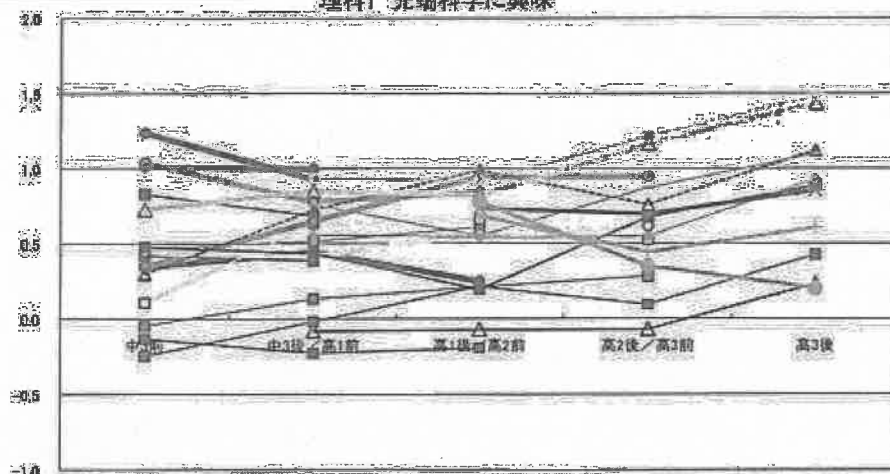
因子得点平均値 経年変化

因子得点平均値の
年間変化

学年	コース	性	H21前	H21	H21後
中3	理数	女	0.4	—	0.4
中3	理数	男	0.8	—	0.7
中3	SS	女	1.0	—	1.0
中3	SS	男	1.2	—	0.9
高1	SSβ	女	-0.2	—	-0.2
高1	SSβ	男	0.5	—	0.6
高1	SSα	女	0.4	—	0.2
高1	SSα	男	0.8	—	0.8
高2	SSβ	女	0.2	—	-0.3
高2	SSβ	男	0.7	—	0.5
高2	SSα	女	0.9	—	0.9
高2	SSα	男	0.6	—	0.8
高3	SSβ	女	0.1	++	0.4
高3	SSβ	男	0.7	++	0.9
高3	SSα	女	0.8	++	1.1
高3	SSα	男	1.2	+	1.4

因子得点平均値 経年変化

理科1 先端科学に興味



—	H22入学 女本
—	H22入学 男本
—	H22入学 女本
—	H22入学 男本
—	H21入学 女本
—	H21入学 男本
—	H21入学 女本
—	H21入学 男本
—	H20入学 女本
—	H20入学 男本
—	H20入学 女本
—	H20入学 男本
—	H19入学 女本
—	H19入学 男本
—	H19入学 女本
—	H19入学 男本
—	H18入学 女本
—	H18入学 男本
—	H18入学 女本
—	H18入学 男本
—	H17入学 女本
—	H17入学 男本
—	H17入学 女本
—	H17入学 男本

「新聞や雑誌や本で、理科に関係する文章をよく読む方だ」「科学技術についてのニュースや話題に関心がある」「科学者や技術者の話を聞いてみたい」「理科について興味があることを自分で調べたり学習したりしている」などの質問で構成されている因子であり、科学技術全般に対する興味関心の高さと、主体的に科学に関わりを持つ意識の高さを示す因子である。

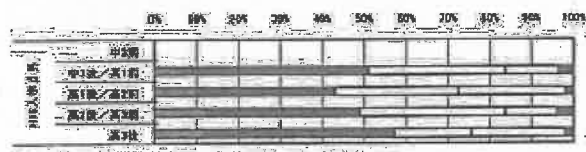
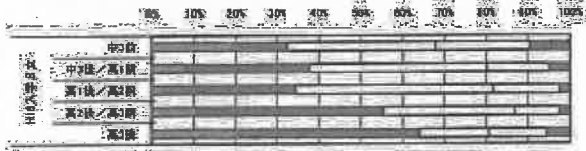
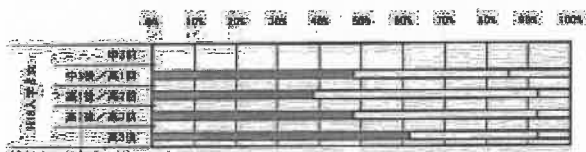
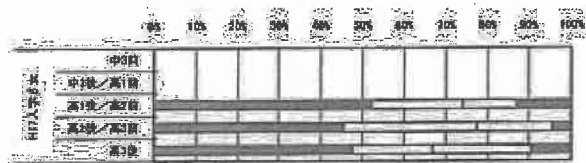
昨年度同様、ほとんどの集団で高い得点を示している。また、SSH導入以前の生徒に見られた、学年があがると興味を失っていく傾向はほとんど見られず。高校3年生においても確実に科学技術に興味を増している。ここで注意しなければならないのは、この因子が、単に面白いと感じるレベルではなく、興味を持ったことに対して文章を読んだり調べたりする主体的な活動まで含んでいる因子であることである。本校のSSH事業において、高校1年次からさまざまな講演会やガイダンス、また、保健や家庭基礎などの授業でも科学の実用的な側面や自分の生活とのつながりなどに触れるようにしている。これらの取組によって、科学技術に対する意識が、単なる興味から、主体的行動を伴うしっかりとした関心のレベルに高まる生徒が、以前に比べて多く出てきているのではないかと考えられる。

本年度もSSβ類型女子は低い得点を示しているが、平年変化を見てみると、H19、H20とも高校入学後着実に得点を伸ばしていることが分かる。このことより、本校SSH事業における教育課程が、入学時点でレディネスが低い女子生徒に対しても、ある程度の意識の上昇をもたらすことが分かった。また、昨年まで得点が低かった中学3年の全ての集団で高い得点を示した。

因子得点平均値の年間変化

理科1 先端科学に興味

学年	コース	性	H21前	H21	H21後
中3	理数	女	0.4	—	0.4
中3	理数	男	0.8	—	0.7
中3	SS	女	1.0	—	1.0
中3	SS	男	1.2	—	0.9
高1	SSβ	女	-0.2	—	-0.2
高1	SSβ	男	0.5	—	0.6
高1	SSα	女	0.4	—	0.2
高1	SSα	男	0.8	—	0.8
高2	SSβ	女	0.2	—	-0.3
高2	SSβ	男	0.7	—	0.5
高2	SSα	女	0.9	—	0.9
高2	SSα	男	0.6	—	0.8
高3	SSβ	女	0.1	++	0.4
高3	SSβ	男	0.7	++	0.9
高3	SSα	女	0.8	++	1.1
高3	SSα	男	1.2	+	1.4



因子得点分布 経年変化

【理科2 理科は生きていく上で大切】

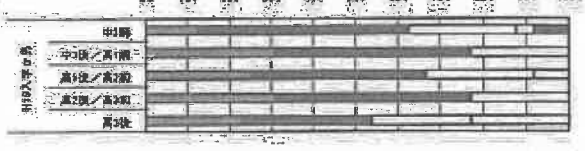
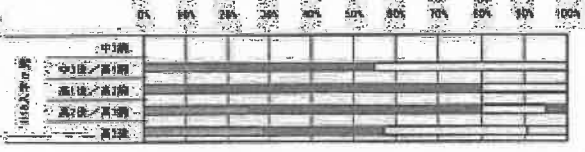
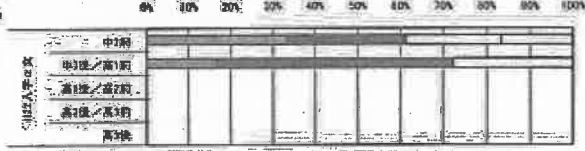
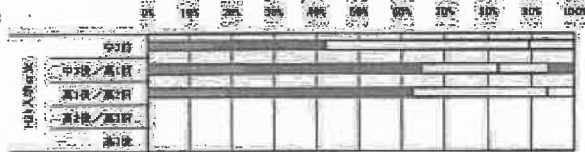
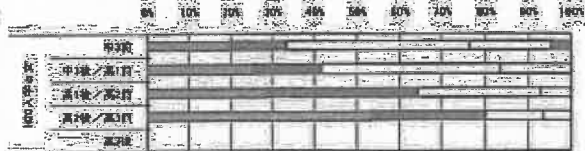
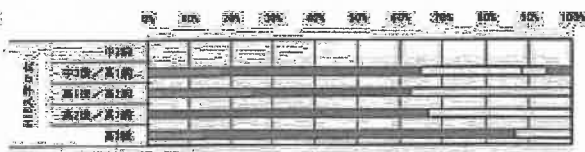
1.5~ (非常に肯定的)

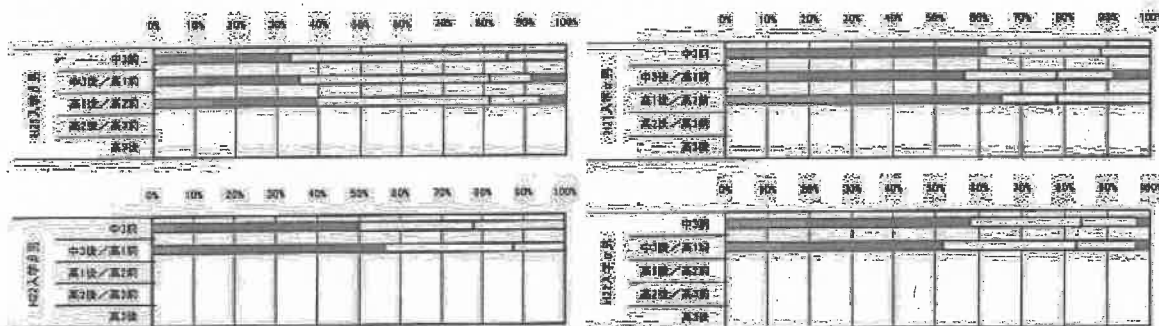
0.5~1.5 (やや肯定的)

-0.5~-0.5 (中立)

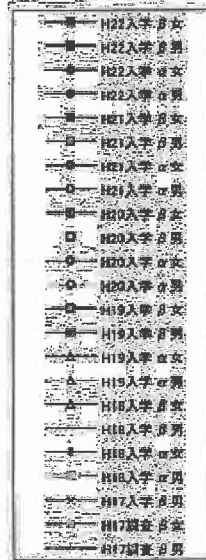
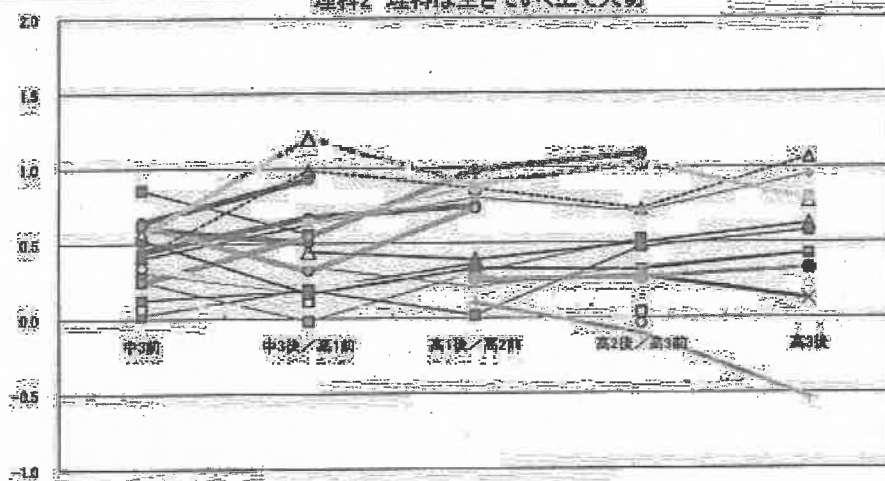
-1.5~-0.5 (やや否定的)

~ -1.5 (非常に否定的)





因子得点平均値 経年変化



「理科で学ぶことに、役に立つものは多いと思う」「理科がわからないと、社会に出てから損をする」「理科を学ぶことは、受験に関係無くても重要だ」「ある程度の理科は、大人になるまでに学習しておきたい」「理科を学習すれば、生活がより便利になる」などの質問で構成されている因子であり、自然科学を理解することが将来の生活の中で有意義なものになるという意識の強さを示す因子である。力強く自然科学に向かい続ける意欲を持つためには、このスコアが高いことが望ましいと考えている。

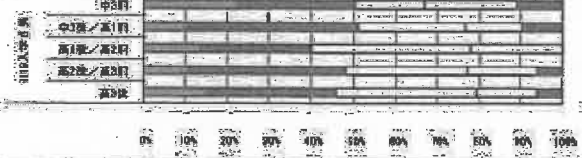
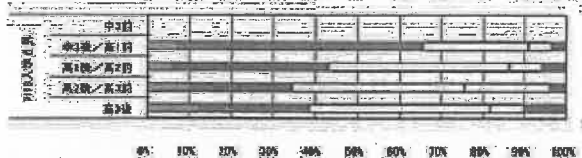
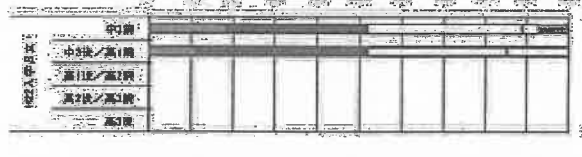
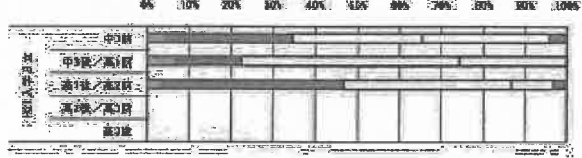
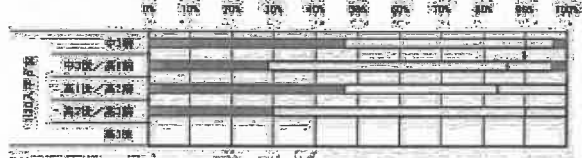
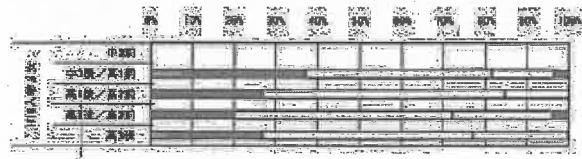
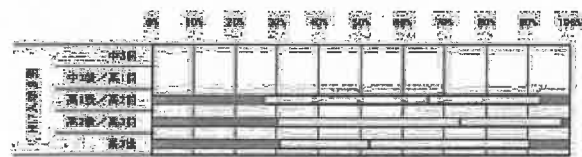
H17年度の生徒集団と比較すると、高3後期においてすべての集団で因子得点平均値は大きく高まっている。特に女子はα類型β類型を問わず高い得点となっている。この因子に対してSSH事業が効果を持っており、その効果は著しく良い方向に働いているようである。

昨年度、中学3年生SS科目群非選択者の集団において1年間で大きくこの因子の得点が低下していた。SS選択科目群の生徒が、Jc課題研究など自らの興味・関心によって内容の選択ができることへのバイアスがかかってしまったのではないかと考え、SS非選択科目群の生徒に対して授業中に、自然科学と社会との関わりを語るように心がけたところ、本年度は、得点の低下はほとんど見られなくなった。中学3年における変化がその後を支配する傾向が強く、中学3年段階における理科の見せ方が非常に大切になる。テストのため・受験のためではない自然科学の意味や意義を理解させる方策が必要である。

因子得点平均値の年間変化

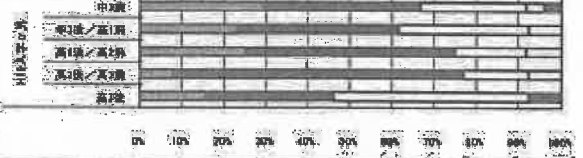
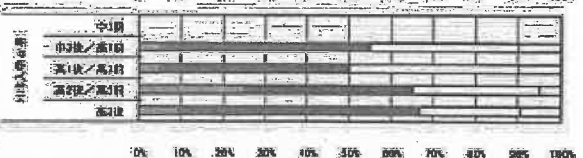
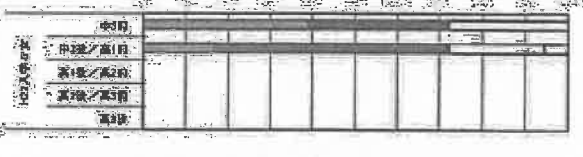
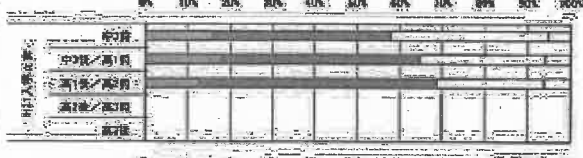
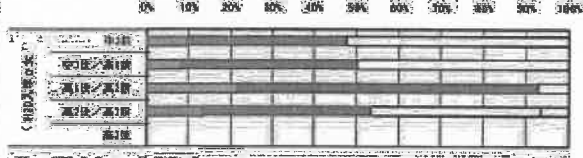
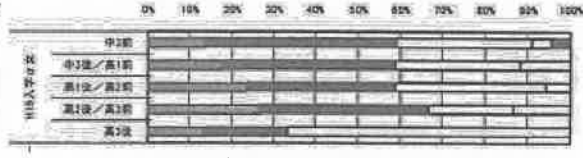
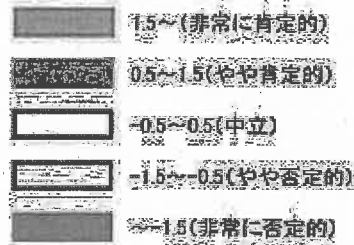
理科2 理科は生きていく上で大切

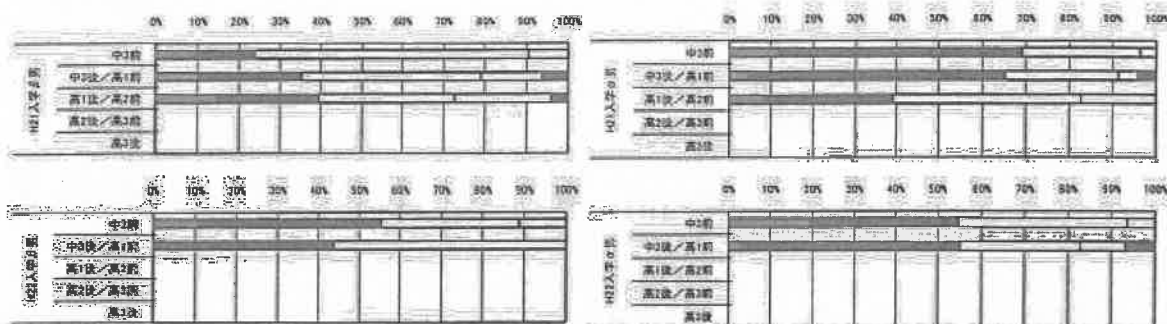
学年	コース	性	H21前	H21	H21後
中3	理数	女	0.9	+	0.8
		男	0.4	+	0.6
	SS	女	0.6	+	0.9
		男	0.6	+	0.5
高1	SSβ	女	0.2	+	0.4
		男	0.2	+	0.3
	SSα	女	0.7	+	0.7
		男	0.3	+	0.7
高2	SSβ	女	0.3	+	0.5
		男	0.0	+	0.0
	SSα	女	1.0	+	1.1
		男	0.3	+	0.0
高3	SSβ	女	0.5	+	0.6
		男	0.3	+	0.4
	SSα	女	0.7	++	1.1
		男	1.0	+	0.8



因子得点分布 経年変化

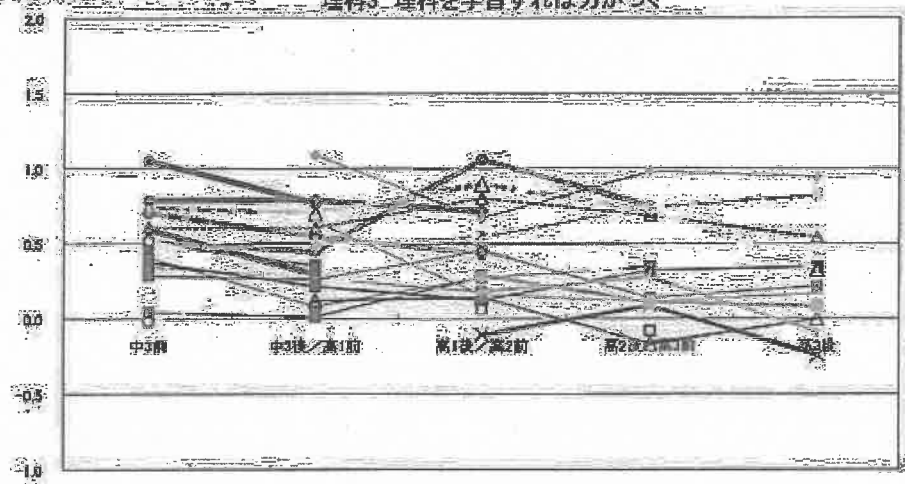
【理科3 理科を学習すれば力がつく】





因子得点平均値 経年変化

理科3 理科を学習すれば力がつく



- H22入学 女
- H22入学 男
- H21入学 女
- H21入学 男
- H20入学 女
- H20入学 男
- H19入学 女
- H19入学 男
- H18入学 女
- H18入学 男
- H17入学 女
- H17入学 男
- H16入学 女
- H16入学 男
- H15入学 女
- H15入学 男
- H14入学 女
- H14入学 男
- H13入学 女
- H13入学 男
- H12入学 女
- H12入学 男
- H11入学 女
- H11入学 男
- H10入学 女
- H10入学 男
- H09入学 女
- H09入学 男
- H08入学 女
- H08入学 男
- H07入学 女
- H07入学 男
- H06入学 女
- H06入学 男
- H05入学 女
- H05入学 男
- H04入学 女
- H04入学 男
- H03入学 女
- H03入学 男
- H02入学 女
- H02入学 男
- H01入学 女
- H01入学 男
- H00入学 女
- H00入学 男

「理科を学習すれば、自然や科学のニュースや新聞記事がわかる」「理科を学習すれば、身のまわりの自然や科学がわかる」「理科を学習すれば、疑問を解決したり予想を確かめる力がつく」「理科を学習すれば、新しい物を作ったり発見したりする力がつく」「理科の学習がもっとよく分かるようになりたい」に対する肯定、「理科でわざわざ実験をしなくても、結果を教えてください」に対する否定などを中心に構成される因子で、理科を学習することによって一般的普遍的な力がつくという意識の強さを示す。

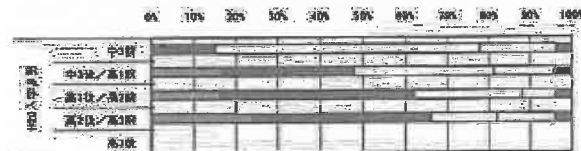
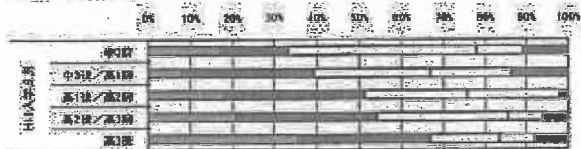
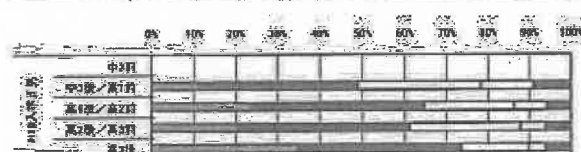
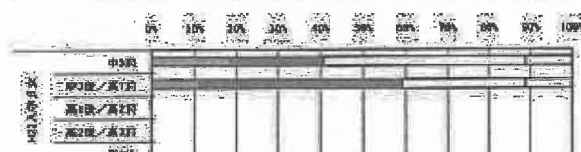
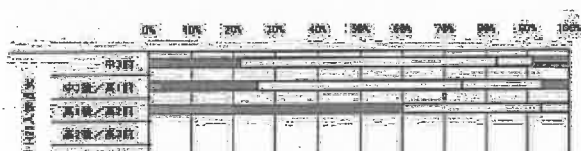
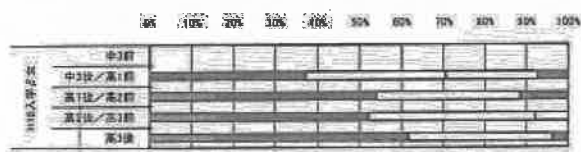
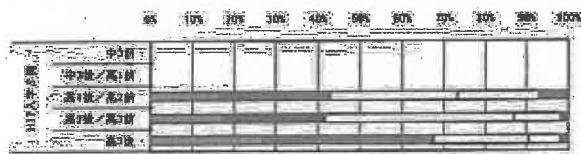
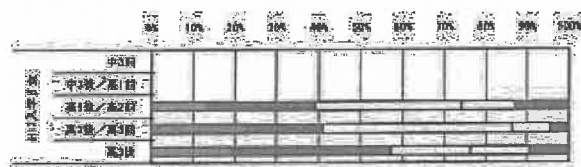
SSH 事業を導入していない学年である H17 年入学者に比べると、どの集団も得点は高いが、先に述べた因子1や因子2のような良好な結果は見られない。高校3年生については、調査時期が大学入試直前であり、これに向かう学習活動が中心になっていることが影響している可能性がある。すなわち、生徒の理科に対する学力観が入試に耐えうるほど強固なものにはなっていないということであろう。

また、因子得点平均値の経年変化を見てみるとこの因子の動きの特徴がわかる。高校2年生の一年間でこの因子に上昇傾向が見られる集団・年度は、高校3年でも良い傾向が見られるが、この時期に得点の低下が見られる集団・年度は、高校3年生での低下に歯止めがかからない。すなわち、高校2年次にこの因子を如何に高めるかが、科学技術に対するより良い意識を作る鍵である。

因子得点平均値の年間変化

理科3 理科を学習すれば力がつく

学年	コース	性	H21前	H21	H21後
中3	理数	女	0.5	—	0.5
		男	0.5	—	0.4
	SS	女	1.1	—	0.8
		男	0.6	—	0.3
高1	SSβ	女	-0.0	—	0.3
		男	-0.3	—	0.2
	SSα	女	0.8	—	0.7
		男	0.5	—	0.4
高2	SSβ	女	0.3	—	0.3
		男	0.1	—	-0.1
	SSα	女	-1.1	—	0.7
		男	-0.4	—	0.3
高3	SSβ	女	0.1	—	0.2
		男	-0.3	—	0.3
	SSα	女	0.7	—	0.5
		男	0.7	—	0.3



因子得点分布 経年変化

【理科4 理科の学習は直接生活の役に立つ】

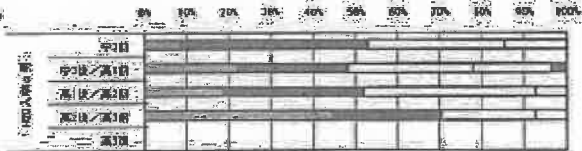
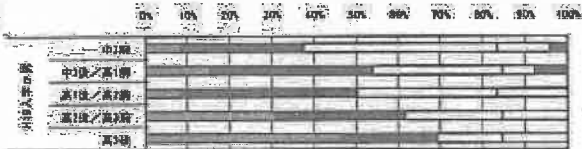
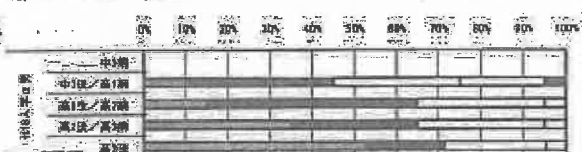
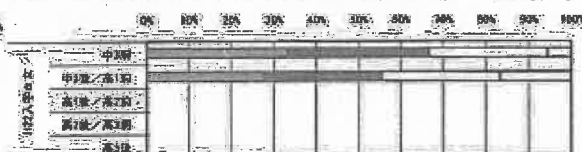
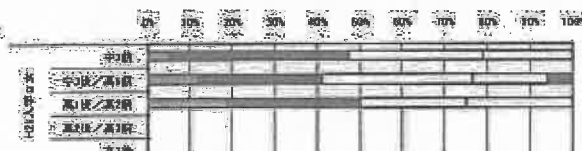
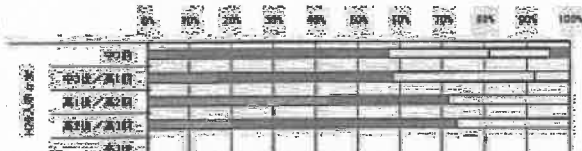
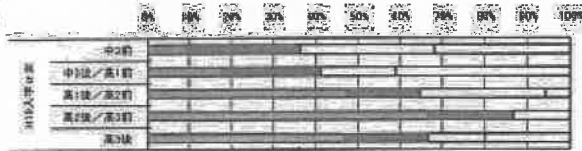
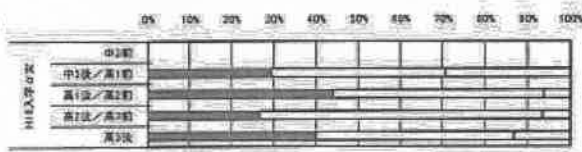
1.5~(非常に肯定的)

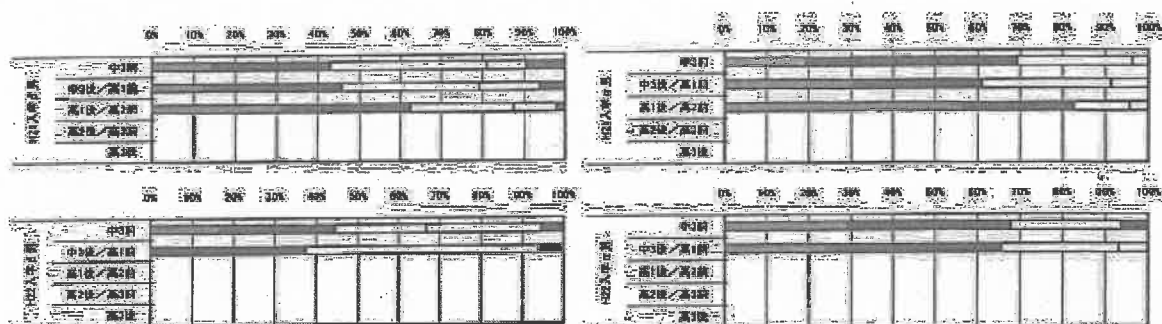
0.5~1.5(やや肯定的)

0.0~0.5(中立)

-1.5~-0.5(やや否定的)

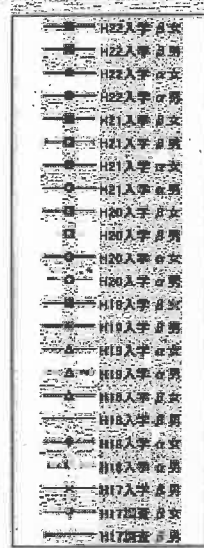
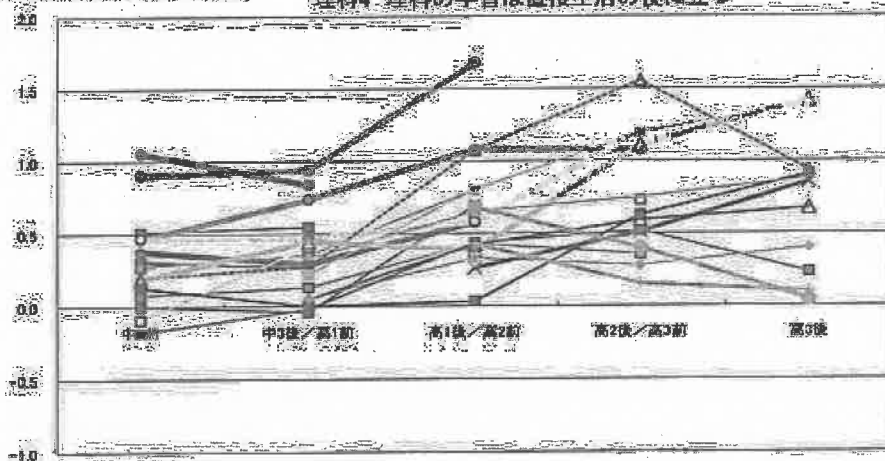
-1.5(非常に否定的)





因子得点平均値 経年変化

理科4 理科の学習は直接生活の役に立つ



「理科を学習すれば、悪い人にだまされなくなる」「理科を学習すれば、よりお金持ちになる」「理科を学習すれば、自分の考えを人に伝える力がつく」「理科を学習すれば、自然や地球環境を破壊しない人になる」「理科を学習すれば、より健康に生活できる」「理科を学習すれば、生活がより便利になる」等の質問項目を中心に構成されている因子であり、理科の学習が日常生活で役立つという意識の強さを示す因子である。

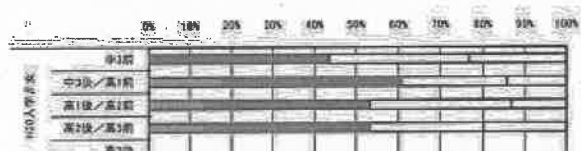
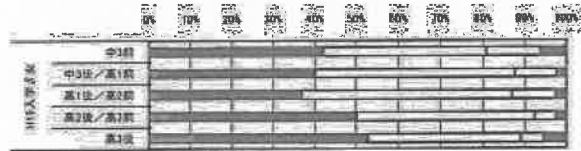
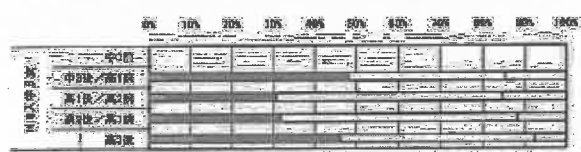
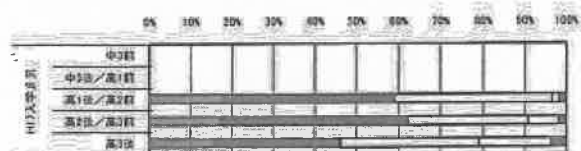
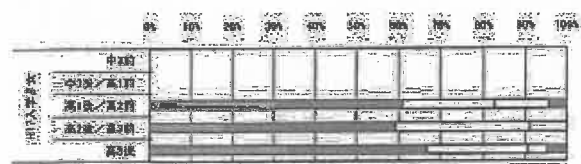
SSH事業を実施していないH17年度の生徒では高校2前期から高校3年後期まで因子得点は下がり続けるが、SSHの事業に取り組み出したH18入学生以降は年を追うごとに因子得点は上昇する傾向にある。これらの原因は、高校1年次に実施している「家庭基礎」や高校2年次に実施している「保健」など理科・数学の授業以外でも理科が生活の中に役立っていること、また授業の内容もより身近な話題や実習等を導入したことによるものであると考えられる。すなわち、SSH事業がこの因子で表される意識を高める効果を持っている可能性が考えられる。

本年度1年間で見ると、高校3年SSα女子で大きく得点を低下させているが、これは、昨年度末の得点が高く出すぎていたためであり、本年度末でも因子得点の平均値は0.9と非常に高い値を示している。また、昨年度の分析結果より、様々な理科の因子に関して、中学3年生の間の得点の変化が大きく影響している事が示唆されたため、本年度は、中学3年生の担当者に理科や自然科学と日常生活とのつながりを強く意識させる授業の実施を心がけてもらった。結果、中学3年においても、これまでにない高い得点が見られた。次年度以降の得点変化に注目したい。

因子得点平均値の年間変化

理科4 理科の学習は直接生活の役に立つ

学年	コース	性	H21前	H21	H21後
中3	理数	女	0.5	-	0.5
		男	0.3	-	0.3
	SS	女	1.1	-	0.8
		男	0.9	-	0.9
高1	SSβ	女	0.0	+++	0.7
		男	0.4	++	0.8
	SSα	女	0.3	+	0.6
		男	0.9	+++	1.7
高2	SSβ	女	0.4	-	0.4
		男	0.6	+	0.7
	SSα	女	1.1	-	1.1
		男	0.6	+++	1.2
高3	SSβ	女	0.5	-	0.2
		男	0.6	+	0.9
	SSα	女	1.6	-	0.9
		男	1.1	++	1.4



因子得点分布 経年変化

【理科5 理科の学習が好き】

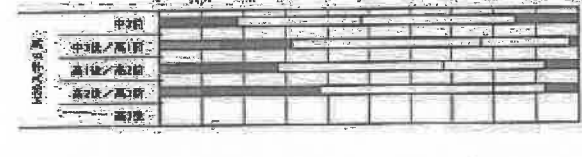
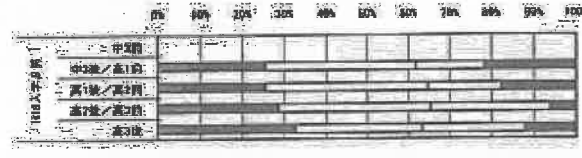
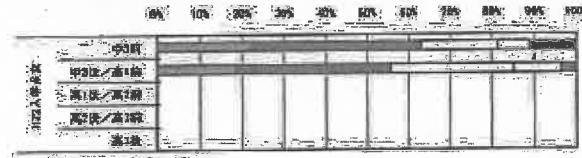
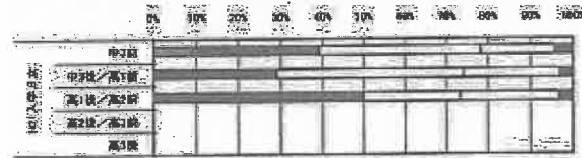
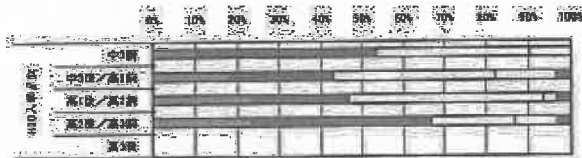
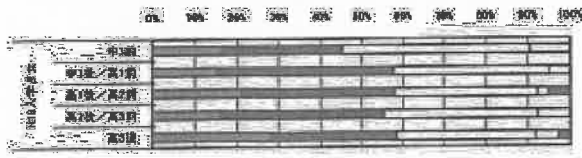
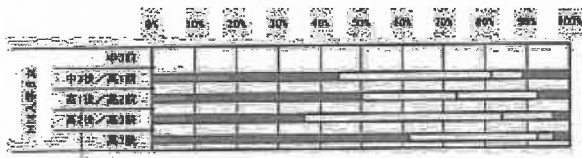
1.5~(非常に肯定的)

0.5~1.5(やや肯定的)

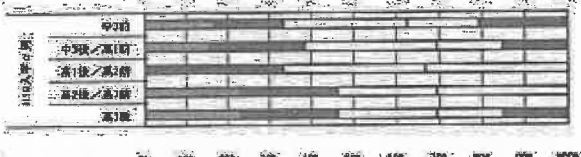
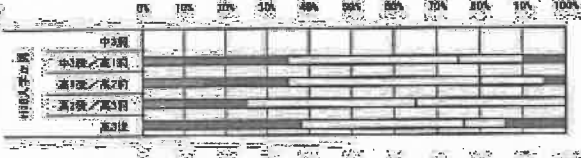
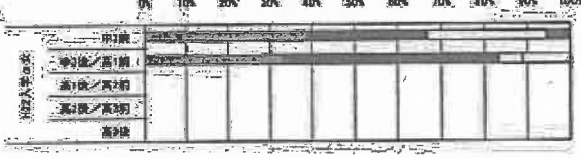
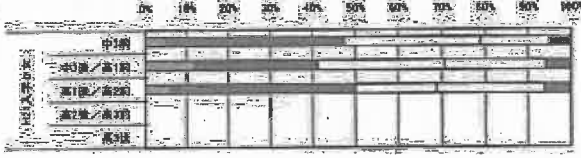
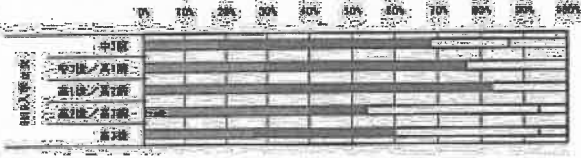
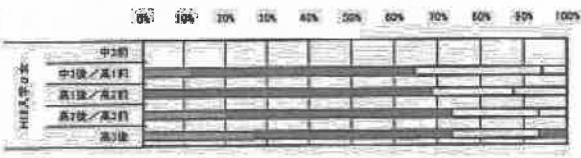
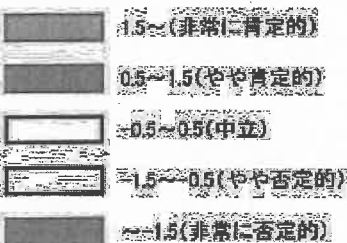
-0.5~0.5(中立)

-1.5~-0.5(やや否定的)

~-1.5(非常に否定的)



【理科6 保健・安全に興味がある】



0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%										
中3前 中3後／高1前 高1後／高2前 高2後／高3前 高3後										

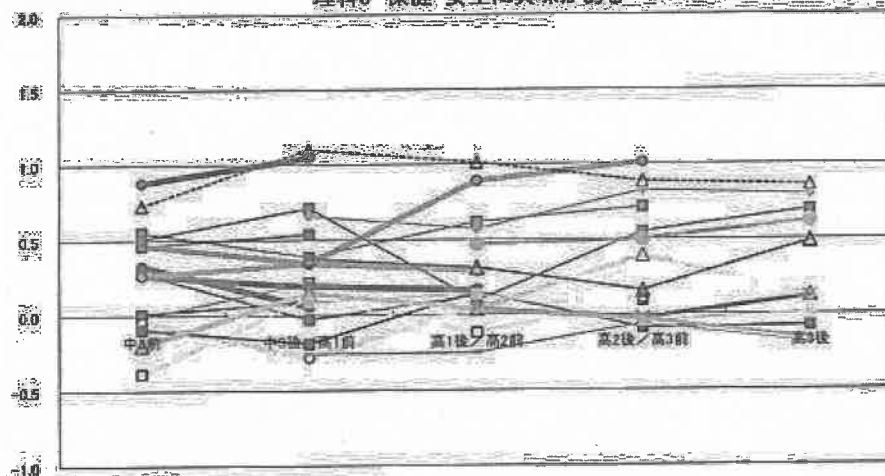
0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%										
中3前 中3後／高1前 高1後／高2前 高2後／高3前 高3後										

0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%										
中3前 中3後／高1前 高1後／高2前 高2後／高3前 高3後										

0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%										
中3前 中3後／高1前 高1後／高2前 高2後／高3前 高3後										

因子得点平均値 経年変化

理科6 保健・安全に興味がある



—●—	H22入学β女
—●—	H22入学β男
—●—	H22入学α女
—●—	H22入学α男
—●—	H21入学β女
—●—	H21入学β男
—●—	H21入学α女
—●—	H21入学α男
—●—	H20入学β女
—●—	H20入学β男
—●—	H20入学α女
—●—	H20入学α男
—●—	H19入学β女
—●—	H19入学β男
—●—	H19入学α女
—●—	H19入学α男
—●—	H18入学β女
—●—	H18入学β男
—●—	H18入学α女
—●—	H18入学α男
—●—	H17入学β女
—●—	H17入学β男
—●—	H17入学α女
—●—	H17入学α男

「食べるものが安全かどうかを調べることに、興味がある」
「病気の原因や直し方について調べることに、興味がある」
「地震や火山や台風の被害をどう防ぐかに、興味がある」「すぐれたスポーツ選手の運動を調べることに、興味がある」「動植物の生き方やその環境を調べることに、興味がある」等の質問項目で構成されており、人が安全・健康に生活していくことに対する興味関心の高さを表す因子である。

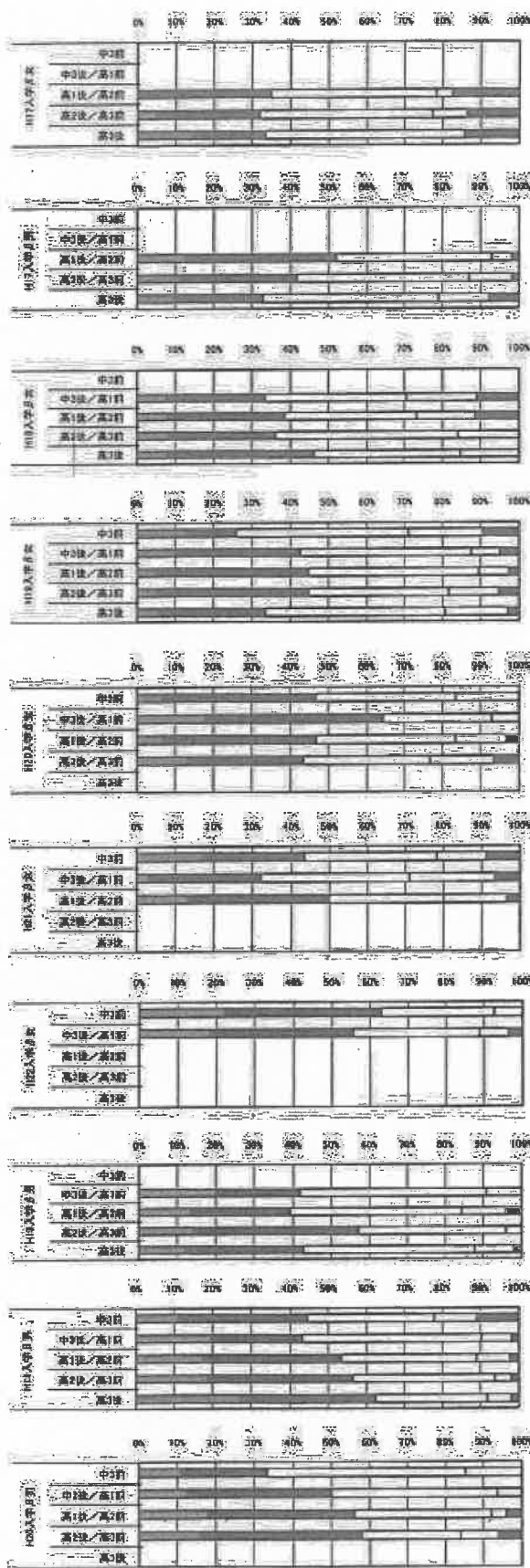
H17年度の生徒と現在の生徒の間に大きな差は見られない。

現在の生徒において、男子では類型間の差は小さいが、女子ではα類型の方がβ類型よりも高い得点を示す。また、男女間での差が明らかにあり、女子が高い得点を示す。本校の女子は、医歯薬保健系を志望する生徒の割合が高い集団であり、この進路意識が因子得点の変化に影響を与えていると考えられる。

なお、H19入学β女子・H20入学α女子・男子で大きく得点が上昇したのは「保健」の授業の影響である可能性が考えられる。昨年まで見られた、中3の1年間での得点の低下は、本年は見られなかった。

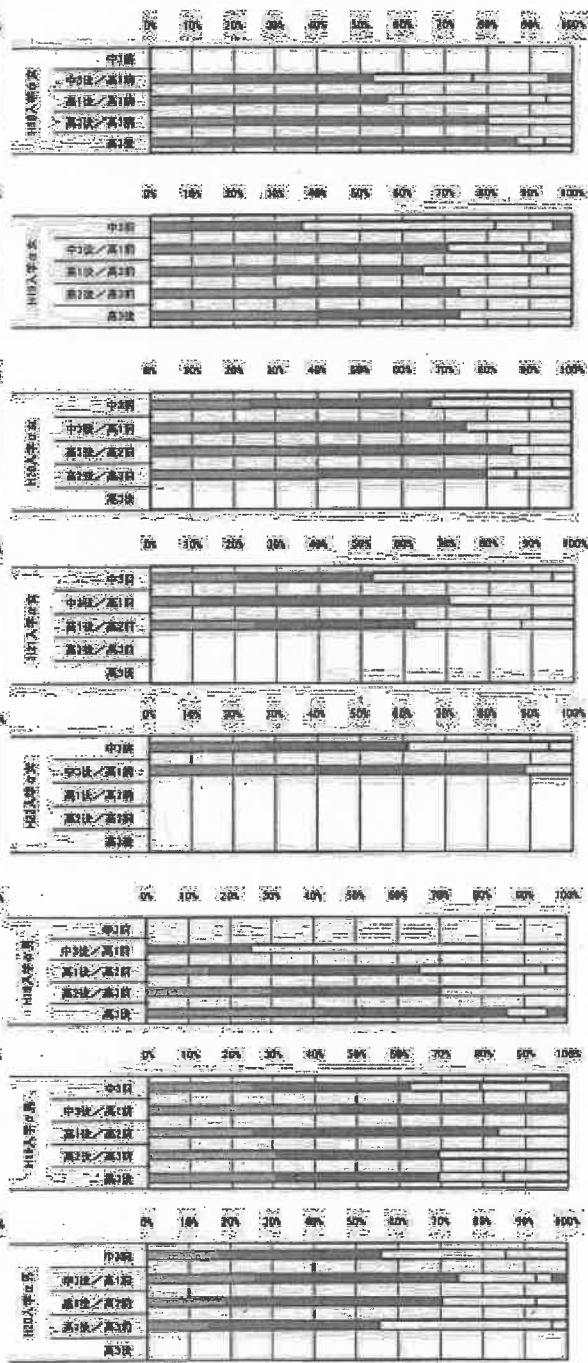
因子得点平均値の年間変化
理科6 保健・安全に興味がある

学年	コース	性	H21前	H21	H21後
中3	理数	女	0.5	—	0.5
		男	0.0	—	0.1
	SS	女	0.9	+	1.0
		男	0.3	—	0.1
高1	SSβ	女	0.0	+	0.1
		男	0.2	—	0.2
	SSα	女	0.2	—	0.2
		男	0.3	—	0.3
高2	SSβ	女	0.6	—	0.7
		男	-0.1	+	0.1
	SSα	女	0.9	+	1.0
		男	0.1	—	0.1
高3	SSβ	女	0.5	+	0.7
		男	-0.1	—	-0.1
	SSα	女	0.9	—	0.9
		男	0.4	—	0.1



因子得点分布 経年変化

【理科7 考えながら実験に向かう】



	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
中3前											
中3後/高1前											
高1後/高2前											
高2後/高3前											
高3後											

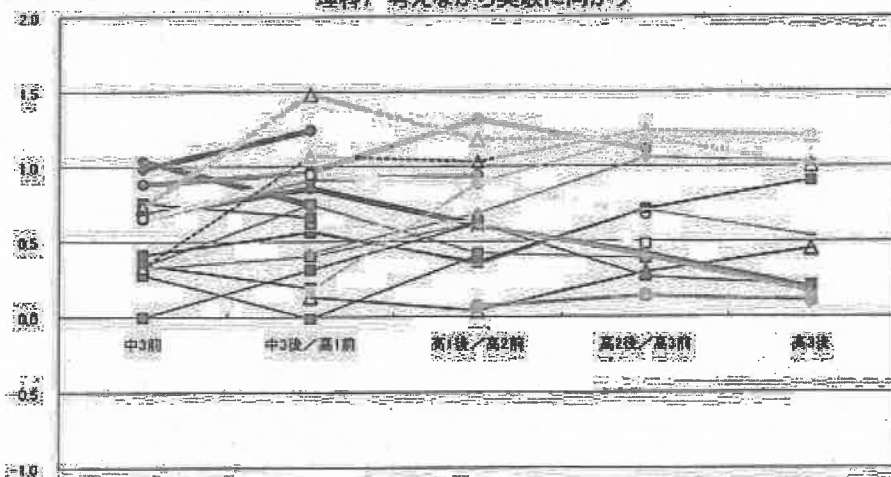
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
中3前											
中3後/高1前											
高1後/高2前											
高2後/高3前											
高3後											

	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
中3前											
中3後/高1前											
高1後/高2前											
高2後/高3前											
高3後											

	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
中3前											
中3後/高1前											
高1後/高2前											
高2後/高3前											
高3後											

因子得点平均値 経年変化

理科7 考えながら実験に向かう



—	H22入学β女
—	H22入学β男
—	H22入学α女
—	H22入学α男
—	H21入学β女
—	H21入学β男
—	H21入学α女
—	H21入学α男
—	H20入学β女
—	H20入学β男
—	H20入学α女
—	H20入学α男
—	H19入学β女
—	H19入学β男
—	H19入学α女
—	H19入学α男
—	H18入学β女
—	H18入学β男
—	H18入学α女
—	H18入学α男
—	H17入学β女
—	H17入学β男
—	H17入学α女
—	H17入学α男

「観察や実験の進め方や考え方を友達と協力して決めるようにしている」「観察や実験の進め方や考え方がまちがっていないかをふり返って考えようとしている」「自分の考えて予想をして、観察や実験をしている」の質問項目で構成されており、単に実験が好きというだけでなく、実験活動の中でしっかりと思考しようとする傾向を表す因子である。

H17年度の生徒と比較すると、現在の生徒の方が高い因子得点平均値を示している。SSH事業が導入される前と現在の状況を比較すると、実験に取り組む機会は明らかに増加しており、このことが実験活動の中で考えようとする姿勢を育てることにつながっていると考えてよいだろう。

また、現在の生徒の経年変化を見ると、H18入学生において、高2の1年間で大きく平均値が上昇している。課題研究に取り組んだ時期にこのような変化が見られることは、あるテーマについての実験活動に継続的に取り組む経験が、実験に取り組む姿勢をより望ましいものに成長させることを示していると考えてよいだろう。継続的な実験活動をカリキュラムの中に位置づけることの有効性を示している。

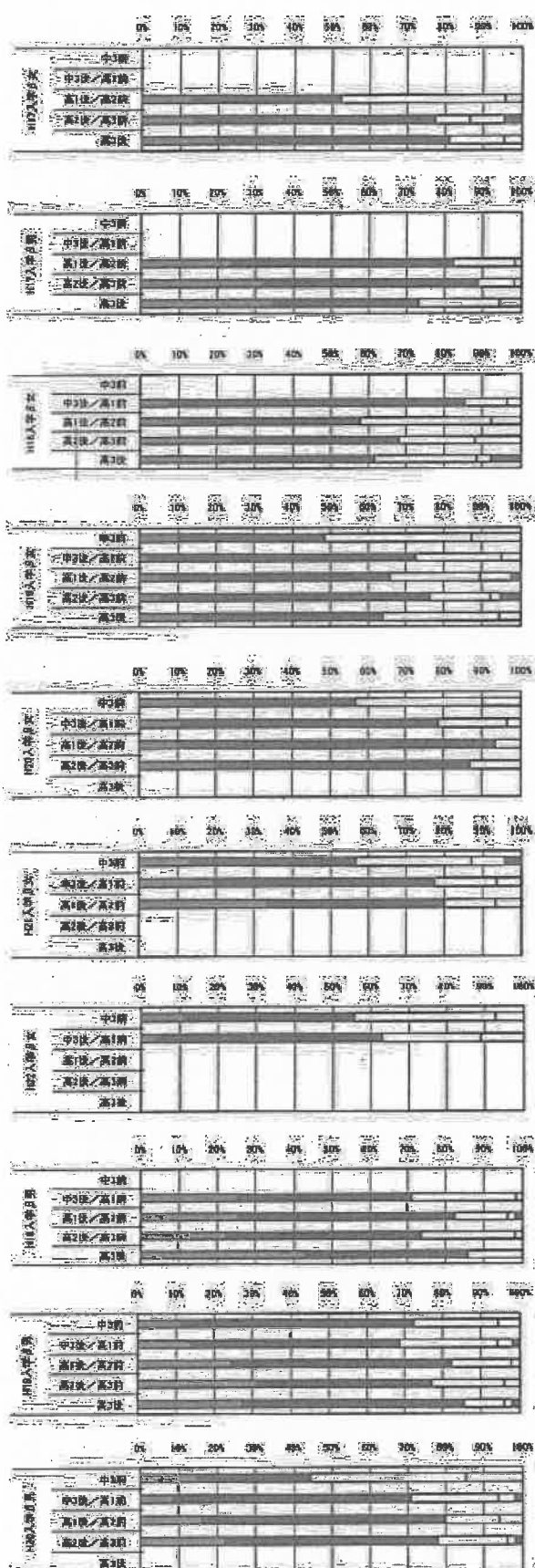
さらに、H18入学β男女においてこの因子の得点は、H17入学生やそれ以前の生徒と比べて、高い値を保っており、一度、継続的な実験活動により身に付いた実験活動の中でしっかりと思考しようとする傾向は、実験活動が終わった後も継続していることが分かる。

H22入学αβ男子では、この因子の得点を1年間で大きく減少させている。また、どの学年も、β類型女子で低い得点となっている。どのような要因により、得点が伸びないのか考え、教育課程の改善に反映する必要がある。

因子得点平均値の年間変化

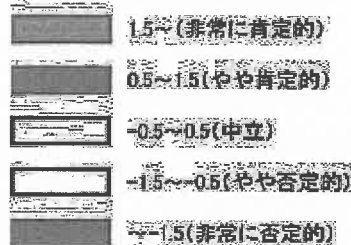
理科7 考えながら実験に向かう

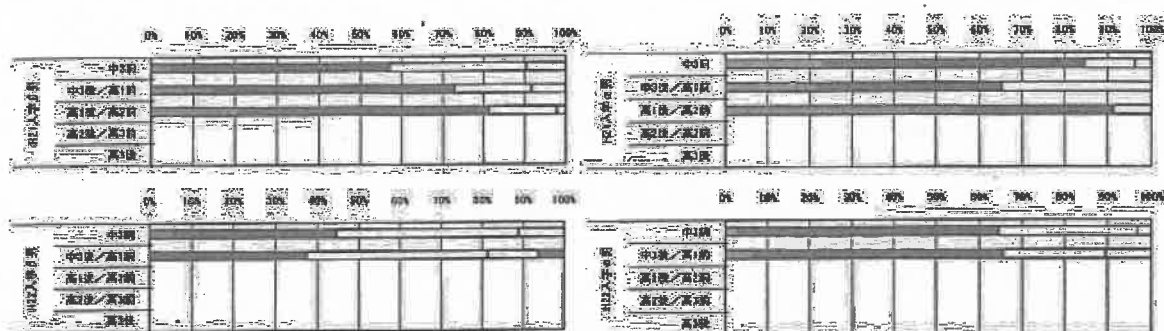
学年	コース	性	H21前	H21	H21後
中3	理数	女	0.8	—	0.7
		男	0.4	—	0.2
	SS	女	1.0	+	1.2
		男	1.0	—	0.7
高1	SSβ	女	0.0	++	0.4
		男	0.4	+	0.8
	SSα	女	0.9	—	0.6
		男	0.9	—	0.9
高2	SSβ	女	0.4	—	0.4
		男	0.6	—	0.5
	SSα	女	1.3	—	1.1
		男	0.9	—	0.7
高3	SSβ	女	0.3	—	0.2
		男	0.7	+	0.9
	SSα	女	1.2	—	1.2
		男	1.2	—	1.0



因子得点分布 経年変化

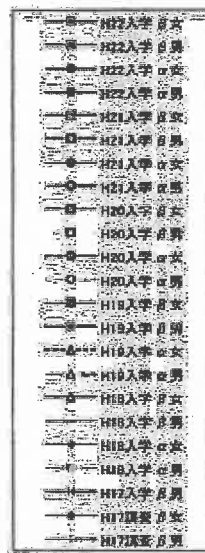
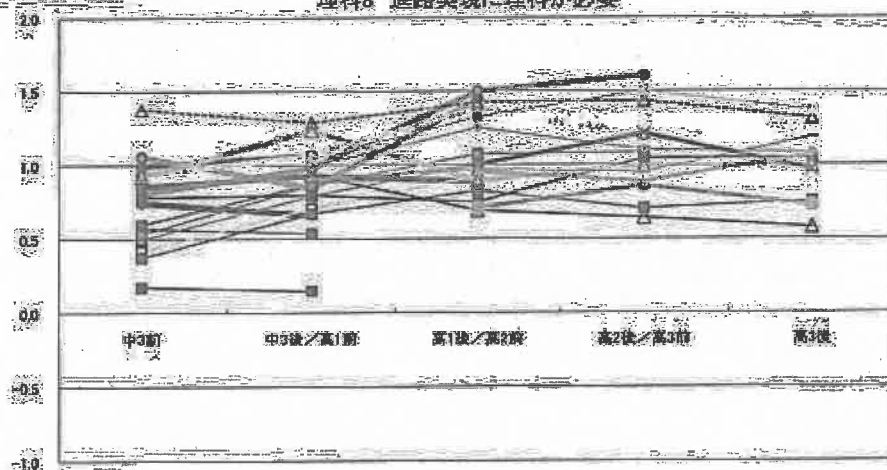
【理科8 進路実現に理科が必要】





因子得点平均値 経年変化

理科8 進路実現に理科が必要



「将来進む道を決めるために、理科を学ぶ必要がある」「私は、大人になって理科が関係する仕事をするかもしれない」の質問項目で構成される因子で、将来科学技術の分野に進もうとする意志とそれに基づく理科に対する学習意欲を示すものである。

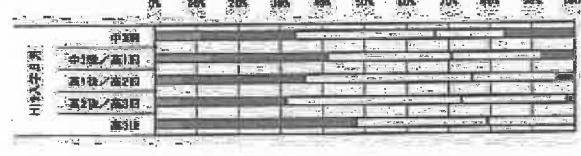
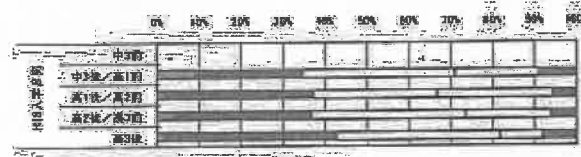
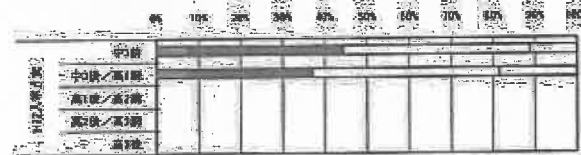
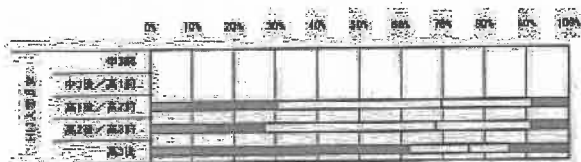
H17年度の生徒と比較すると、SS α 類型の生徒でやや高くSS β 類型の生徒はほぼ同じ値である。

本校の理数科の生徒がもつ理系分野に向かう意識がどの程度強いものかを見るために、ここでも全国SSH校を対象にした調査結果（科学への学習意欲に関する実態調査：スーパーサイエンスハイスクール・理科大好きスクール対象調査結果報告書）と比較してみると、どの学年を見ても、他のSSH校の高頻度取組群よりも平均値が高くなっており、本校理数科の生徒が理系分野に向かおうとする意志はかなり強いと考えてよいだろう。

また、経年変化を見ると、高1の1年間で最も大きく動き、その他の学年での変化は比較的小さくなる傾向がある。高1の1年間で基本的な進路についての考えが固まっているのであろう。集団間の差については、 α 類型でこの因子に対し、特に強い肯定感を示している。昨年度は高2SS β 女子だけが低い数値を示していたが、本年度の高2SS β 女子にはその傾向は見られない、教育課程そのものの影響は低く、昨年度の生徒集団の特性であったと考えて良いだろう。

因子得点平均値の年間変化
理科8 進路実現に理科が必要

学年	コース	性	H21前	H21	H21後
中3	理数	女	0.6	—	0.5
		男	0.2	—	0.1
高1	SS	女	1.0	—	1.1
		男	0.7	—	0.7
	SS β	女	0.9	+	1.0
		男	0.8	+	1.0
高2	SS α	女	0.9	—	0.9
		男	0.8	+++	1.4
	SS β	女	1.1	—	1.1
		男	0.9	—	1.0
高3	SS α	女	1.5	+	1.6
		男	1.4	—	1.2
	SS β	女	0.7	—	0.8
		男	1.0	—	1.0



因子得点分布 経年変化

【理科9 科学の発展は人類の役に立つ】

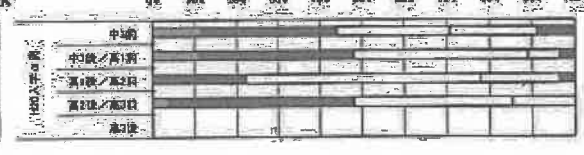
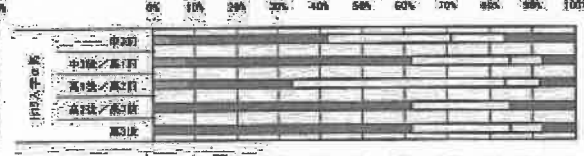
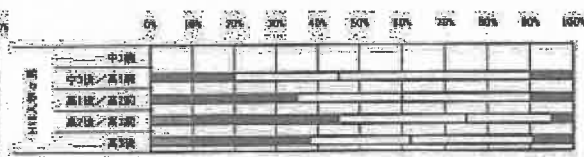
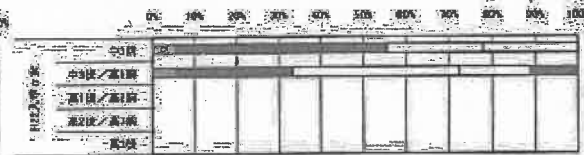
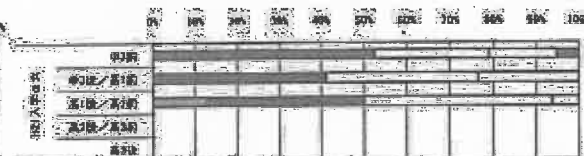
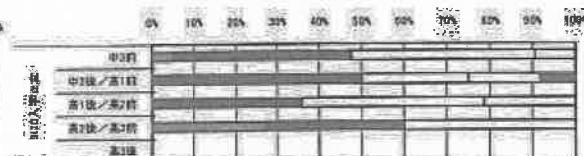
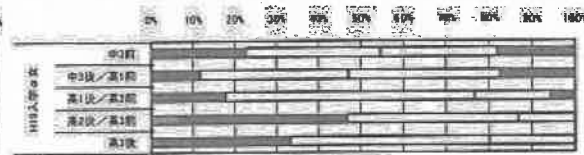
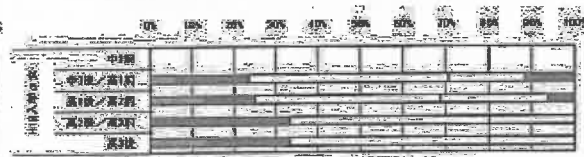
1.5~ (非常に肯定的)

0.5~1.5 (やや肯定的)

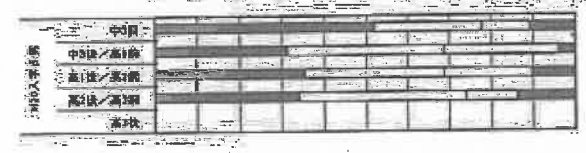
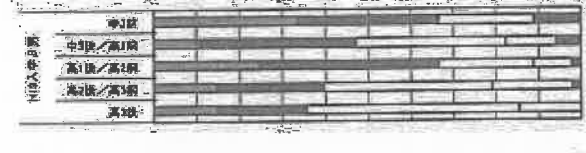
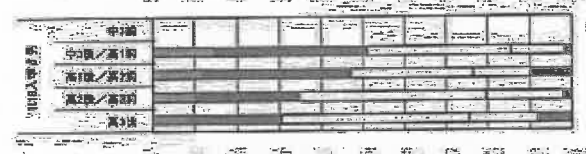
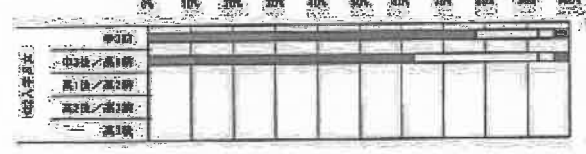
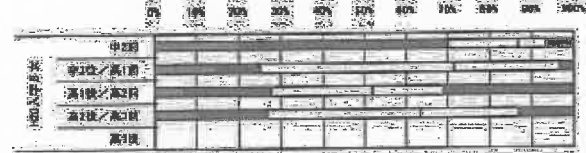
-0.5~0.5 (中立)

-1.5~-0.5 (やや否定的)

<-1.5 (非常に否定的)







因子得点分布 経年変化

【数学1 数学は生きていく上で大切】

1.5~ (非常に肯定的)

0.5~1.5 (やや肯定的)

-0.5~0.5 (中立)

-1.5~-0.5 (やや否定的)

~-1.5 (非常に否定的)

